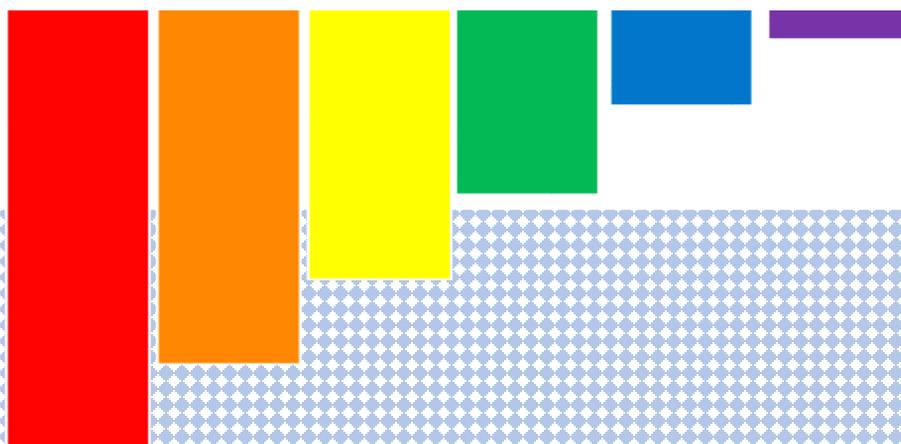


あさひかわ男女共同参画だより

ハーモニー

令和4年3月 第18号



◆コラム (P1~P2)

- ・LGBTQ+, SOGIEについて
- ・アンコンシャス・バイアスについて

◆今年度の取組紹介 (P3~P8)

コ

ウ

ム

- 性の多様性を知ろう -

LGBTQ+ と SOGIE って何？

性自認と生物学的な性が一致し、かつ異性を好きになる人が多数であることから、これと異なる要素の組み合わせを持つ人々を「性的マイノリティ」、頭文字をとって「LGBTQ+」と総称することがあります。

SOGIE (ソジエー) は、「性的指向 (Sexual Orientation)」、「性自認 (Gender Identity)」、「GE (Gender Expression)」の頭文字をとった言葉です。誰しものが持っているものであり、「LGBTQ+」だけでなく「誰もが持っている性のあり方を理解しようとする言葉」です。

LGBTs: 性的マイノリティ

- L** レズビアン (Lesbian)
同性を好きになる女性
- G** ゲイ (Gay)
同性を好きになる男性
- B** バイセクシャル (Bisexual)
同性も異性も好きになる人
- T** トランスジェンダー (Transgender)
身体の性に違和感を持つ人

- Q** クエスチョニング (Questioning)
自分の性の在り方について「わからない」「決めたくない」など。
クィア (Queer)
性的マイノリティを包括する言葉
- +** プラス
上記以外にもたくさんの性の在り方があるため

SOGI (ソジ) : 性自認, 性的指向

- SO** (Sexual Orientation)
性的指向 (どの性別を性愛対象とするか)
- GI** (Gender Identity)
性自認 (自分が認識する性別)
- GE** (Gender Expression)
性表現 (服装や髪型、一人称など性別についての表現)



女性に惹かれる人、男性に惹かれる人、どちらにも惹かれる人、どちらにも惹かれない人、自分は男性だと思う人、自分は女性だと思う人、どちらでもないと思う人、両方だと思ふ人もおり、組み合わせも多様です。

性自認や性的指向は自分で選択出来るものではありません。

多様な性が受け入れられ、誰もが安心して暮らせる社会をつくっていくために、多様な性の在り方に対する社会的な理解がより深まっていくことが重要です。

「デートや食事のお金は男性が負担すべき？」

「家事・育児は女性がするべき？」

内閣府調査 令和3年度 性別による無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)に関する調査研究 から

アンコンシャス・バイアスとは、 「自分では気づいていない ものの見方やとらえ方のゆがみや偏り」

アンコンシャス・バイアスは誰もが持っているものです。それ自体、よい、悪いというものではありませんし、物事を大枠でとらえて、瞬時に判断し、効率的に処理する上では役に立つことも多くあります。しかし、アンコンシャス・バイアスに気づかずにいると、自分の考えや価値観を絶対だと思い込み、勝手に決めつけや価値観・行動の押しつけにつながる場合があります。また、無意識のうちに相手を傷つけたり、自分自身や周りの人の可能性を狭めてしまうこともあるのです。

例えば、「デートや食事のお金は男性が負担すべきだと思いますか？」という問いについて

⇒約8割の女性は「男性がおごるべき」と思っていないという結果となりました。

「アンコンシャス・バイアス」は日常にあふれていて、誰にでもあるものですが、言葉の認知度は、21.6%と非常に低いものでした。

だからこそ、一人ひとりがアンコンシャス・バイアスを意識することが、多様性を尊重しあう社会へと近づく第一歩となります。

アンコンシャス・バイアスについて

【アンコンシャス・バイアスの具体的な例】

- ◆ 血液型を聞いて、相手の性格を想像することがある
- ◆ 性別、世代、学歴などで、相手を見ることがある
- ◆ 「性別」で任せる仕事や、役割を決めていることがある
- ◆ 男性から育児や介護休暇の申請があると、「奥さんは？」ととっさに思う
- ◆ 子育て中の女性に、転職を伴う仕事の打診はしないほうがいいと思う



アンコンシャス・バイアスへの対処法について

対処法1 決めつけない、押しつけない

アンコンシャス・バイアスから生まれる言動には、「普通はそうだ」「こうあるべきだ」「どうせムリだ」といった、決めつけや押しつけが挙げられます。(詳細は、図表参照)

図表	決めつけない、押しつけない
価値観の決めつけ言葉	● “普通” そうだ ● “たいてい” こうだ など
能力の決めつけ言葉	● どうせムリ・どうせダメ ● そんなことできるわけない など
解釈の押しつけ言葉 (違う解釈を受け入れない)	● そんなはずはない ● こうに決まってる など
理想の押しつけ言葉 (自分の理想を相手に求める)	● こうある “べき” だ ● こうでないとかダメだ など

(C) Copyright All Rights Reserved. 一般社団法人アンコンシャス・バイアス研究所

例えば、「子育て中の女性は、普通、長期出張は無理だ」、「この仕事は、たいていの男性には無理だ」といったように、自分の決めつけや押しつけの言動に気づいたら、「これは、私のアンコンシャス・バイアスかも？」と疑ってみてください。

対処法2 自己認知

アンコンシャス・バイアスの正体は「自己防衛心」です。脳が無意識のうちに自分にとって都合のよい解釈をすることによって起きています。自然の摂理であり、完全に払しょくすることはできません。だからこそ、大切なことは、アンコンシャス・バイアスに気づこうと、ひとりひとりが意識することです。(詳細は、参考参照) 自分のモノの見方のクセや、思考のクセに気づけるかもしれません。

参考 <自己認知の習慣化>アンコンシャス・バイアス・メモの見本

メモの例

- 会議中に、相手の表情が急に曇った(私の言動の何かでそうさせたようだ)
- 後輩から「違うと思います」と言われて、ムッとしてしまった(私は常に正しいという思い込みがあるかも?)
- 「普通ならこうするのに…」というのはアンコン?(相手のやり方が間違っていると、頭ごなしに決めてつけているかも…)
- 「あの年代の人たちは…」と「十把一絡げ」に見ている自分に気づいた
- 「この提案は、どうせムリかも？」というアンコンで一歩踏み出せていないのかも(次回、提案してみよう!)
- 配慮のつもりで、仕事を引き取ったけど、それは私の思いこみ?(やっぱり、本人に明日、確認してみよう!)

非言語メッセージや違和感がポイントに!

イライラなど感情の揺れ動きもアンコンに気づくポイントです

一歩踏み出せない時や決めつけたときにメモ!

(C) Copyright All Rights Reserved. 一般社団法人アンコンシャス・バイアス研究所

対処法3 相手の表情や態度の変化など「サイン」に注目する

相手の心のあと味が、サインとなってあらわれます。「急に表情が曇った」「声のトーンが変わった」「キーボードを打つ音が大きくなった」「オンライン会議中に急にビデオがOFFになった」といったサインに気づいたら、「私のアンコンシャス・バイアスによる言動が、相手の心のあと味を濁したかも？」と、ぜひ立ち止まってみてください。違和感をそのままにせず、フォローを心掛けてみてください。

令和3年度の取組の一部を紹介します

ワーク・ライフ・バランス推進事業者表彰

旭川市では、ワーク・ライフ・バランスの推進を積極的に行っている事業者の取組を讃えるとともに、広く紹介することによりワーク・ライフ・バランスに関する意識の向上及び男女がともに安心して働くことができる職場環境の促進を図ることを目的として、ワーク・ライフ・バランス推進事業者表彰を行っています。

令和3年度は、3社が受賞しました。受賞事業者の主な取組を御紹介します。



市長と受賞事業者の皆さま

※左側から
アクサ損害保険株式会社
旭川センター様
旭川市長
株式会社ノムラ様
株式会社NTT東日本 - 北海道
北海道北支店様

アクサ損害保険株式会社 旭川センター 様

1対1の対話によるコミュニケーションをベースとする企業文化の醸成に向け、リーダーに対するコーチング・トレーニングや、自己実現や自律的なキャリア開発のためのサポートを実施し、高い視点と広い視野を持つ女性リーダーの育成に向けたアクサダイレクト女性リーダー育成プログラム、アクサグループ共同のグローバル・レベルの選抜研修、オンライン学習サービス LinkedIn Learningの導入等による人材育成研修に取り組まれています。

株式会社ノムラ 様

工場部門の時間外労働削減のため、5年間で32名もの増員を実現し、令和2年4月から2交代勤務制を導入しました。このほかにも、高い生産能力を持つプレカットマシンの導入などの大規模な設備投資や、社内各部門の連携による発注体制の見直しを行い、売上を維持しながら、職員の時間外労働を約半分にするなど、働きやすい環境づくりに向けた取組を進めるとともに、幅広い事業展開に対応できる人材の育成・強化に取り組まれています。

株式会社NTT東日本 - 北海道 北海道北支店 様

リモートワーク制度の積極的な活用や手当の創設、コミュニケーションツールやスーパーフレックスタイム制を導入し、フレキシブルな働き方を推進しています。また、勤怠管理システムの活用や、ICTを活用した様々なコミュニケーション手法による適切な業務マネジメントを実施。このほか、年次有給休暇取得率を100%とするなどの労働時間縮減を進めているほか、資格取得を推奨し、社員のスキル強化及び多様なキャリア形成の支援にも取り組まれています。

これまでの受賞者の皆さんの取組を 事例集として公開しています

事例集はコチラ

公開中

これまでのワーク・ライフ・バランス推進事業者表彰受賞者の皆さまの取組は、年度毎に事例集として作成しており、市のホームページでご覧いただけます。

自社のワーク・ライフ・バランスの推進にぜひ御活用ください。事例集は次のURL

(<https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/700/735/751/752/d058401.html>)、または右のQRコードから御覧いただけます。



QRコードを読み取る

仕事と育児／介護の両立支援オンラインセミナー

男女共同参画研修会として、仕事と育児、仕事と介護の両立支援に関するオンラインセミナーを開催しました。

セミナーでは育児休業の取得や、育休取得後の円滑な復帰を支援するための「育休復帰支援プラン」や、介護をしながら仕事を継続するための「介護支援プラン」の策定・活用方法を事例とともに紹介しました。

開催日 令和3年10月20日

お知らせ

- 経営の効率化を図りたい
- 育児・介護離職をなくしたい
- 女性が働きやすい会社になりたい
- 在宅勤務を推進したい

…とお考えの
事業者のみなさま

旭川市ワーク・ライフ・バランスアドバイザーを活用しませんか？

事業を営んでいる皆さまのワーク・ライフ・バランス推進の取組を支援するため、社会保険労務士等をワーク・ライフ・バランスアドバイザーとして派遣します。

ワーク・ライフ・バランスアドバイザーがお申し込みのあった事業者の実情に応じたアドバイスをします。

アドバイスの内容は、経営効率の改善・生産性向上、育児・介護のための休業制度の導入、在宅勤務の推進など、生産性の向上や働きやすい職場環境づくりのための指導や助言となります。

無料
派遣

申込先

旭川市総合政策部女性活躍担当

電話:0166-76-5520

E-mail:joseikatsuyaku@city.asahikawa.lg.jp

申込はコチラ



「知ろう！考えよう！暮らしやすい旭川」

「知ろう！考えよう！暮らしやすい旭川」と題して、旭川市市民活動交流センター CoCoDeを会場に、2回に分けて男女共同参画啓発講座を開催しました。

今回は、会場とオンライン（Zoom）のほか、後日YouTubeでも視聴できる講座とし、各回、参加者から積極的な質問や発言がありました。

●第1回

「自分らしく生きる。LGBTsと一緒に学ぼう」

講師の田中 純さんは、生まれた時の性別と自認する性別が異なるトランスジェンダー（性別違和）の当事者である田中純さんを講師として、日常生活や成長に伴う不安など、当事者ならではの経験や具体例を交えてお話いただき、身近な存在であるLGBTsについて学びました。

開催日 令和4年1月31日

講師 LGBTs支援団体・にじいろスマイル代表 田中 純 氏

◆参加者の声

・知っているつもりで知らなかったことが多かったと気づく大変素敵な研修でした。子ども、メンタルヘルスに関わる仕事をしているので、まずは知る大切さを伝えていけたらと思います。

・過度な干渉は不必要。その通りだと思います。助けを求められたら、必要なことだけする。心がけたいです。



●第2回

「男女ともに子育てしやすい職場づくりを考えよう」

旭川市ワーク・ライフ・バランス推進事業者表彰受賞事業者の社員であるお二方をスピーカーに迎え、会社としてワークライフバランスに取り組むきっかけや、その効果のほか、今後検討していることなど、男性も育児参画しやすい雰囲気づくりについてお話いただきました。

開催日 令和4年2月7日

スピーカー 株式会社アイ・ディー・エフ 経営企画人事部
有限会社アウトバーン 本店営業部兼損保推進部

熊本 隆司 氏

吉田 由美子 氏

◆参加者の声

・親世代の考え方や社会を作ってきた男性の考え方が今までのモデルだったところをマインドチェンジしていく、必要な人が必要な時に仕事や人生と向き合えるよう、思い合える社会になるといいと思います。

・育児休業をとっている方が少なく、旭川はまだまだ、ここからなんだなと思いました。今日参加された2社のような会社がどんどん増えていくには、どうしたらいいのかと考えさせられました。



「女性の社会参画・マインドアップ講座」

結婚や子育てなどのライフイベントで、一度仕事から離れた女性の社会参画・リスタートをテーマとして、男女共同参画研修会「女性の社会参画・マインドアップ講座」を開催しました。

ワークシートに記入しながら、自分が大切にしたいことや適性などを見つける時間となりました。

開催日 令和4年2月13日

講師 womom (ウーマム) 代表 齋藤 貴子 氏



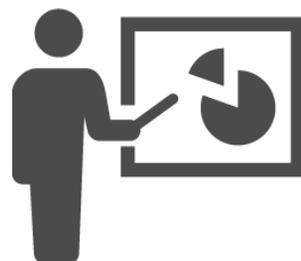
◆参加者の声

- ・改めて何のため？をしっかりと把握して夫とも共通認識できると、より自分のやりたいことに近づけるかと思いました。今日のワークで、好き、得意、苦手、嫌いを明らかにすることで、やりたいこともすっきりしてきました。
- ・自分の想いに気づき、伝える、表現するのがいいですね。

男女共同参画出前講座

今年度は、男女共同参画、ワーク・ライフ・バランス、デートDVなどのテーマで講座を実施しました。

開催日	テーマ
6月24日(木)・7月1日(木)	男女共同参画の実現に向けて
8月4日(水)	ワーク・ライフ・バランスの推進
10月11日(月)	デートDV・児童虐待対応について
11月11日(木)	デートDVについて
1月19日(水)	デートDVについて



お知らせ

旭川市男女共同参画出前講座をご利用ください！

旭川市では、男女共同参画への理解を深めるため、市民の皆さんの申込みを受けて、担当職員等を講師として派遣する『旭川市男女共同参画出前講座』を実施しています。

概ね10人以上の参加者が見込まれる団体であれば、どなたでも申込みができます。

各種研修会や学習会などで、お気軽に御利用ください。

申込はコチラ

申込先

旭川市総合政策部女性活躍担当

電話:0166-76-5520

E-mail: joseikatsuyaku@city.asahikawa.lg.jp



市民の企画提案による協働のまちづくり事業 つなぐ・つながる！女性が笑顔で踏み出す第一歩2021

開催日 令和4年2月13日

元気な旭川の女性の活動を知ってもらおうと、市民・企業・行政が交流できる体験型イベント「つなぐ・つながる！女性が笑顔で踏み出す第一歩2021」を、一般社団法人North-Woman旭川支部さんと協働で開催しました。

市民活動交流センター CoCoDe全館を会場に、女性起業家が出展するブースのほか、サークル活動の展示や体験、講演会などのステージイベント、屋外では市民活動のパフォーマンスなど盛りだくさんの一日でした。



入場者制限等の感染対策を施しての開催でしたが、天候にも恵まれ800人を超える市民に来ていただきました。

多くの学生ボランティアさんたちに支えられて、このまちの女性たちの元気をお伝えできたと思います。



市は運営のほか、講演会とパネル展を担当

男女共同参画パネル展



男女共同参画を テーマとした研修会



◆来場者の声

- ・オンラインが主体だった中、このイベントを通じてようやく会えた、久々に会えたという場だったなと改めて感じました。また、コンテンツや出展ブースに「一歩踏み出すためのもの」がたくさんあり、とても良かったなと思います！
- ・企画、運営からステージイベントまで、輝く女性の姿が全面に出ていました。

旭川大学黒川ゼミによる ディベート



ボランティアスタッフとしても大活躍だった黒川ゼミのみなさん

ステージでは、旭川大学経済学部黒川ゼミナールの学生の皆さんによる女性の社会参画をテーマとしたディベート（公開討論）が開かれ、「女性の社会参画が優先されるべき」、「男性の家庭進出優先されるべき」の双方の立場から熱心に討論を繰り広げました。

「男性が家庭進出して、就業時間が減少することによる収入減がもたらす家計への影響を考慮すべきではないか」

「子育て中の夫婦共働き家庭において、両親が長時間不在とすることによる育児への影響を考える必要なあるのではないか」

などの意見をぶつけ合い、これから社会を担う学生たちにとっても、男女格差を考える貴重な機会となりました。

男女共同参画パネル展

男女共同参画の重要性を知ってもらい、考えていただくきっかけづくりとするため、男女共同参画に関するテーマでパネル展を開催しました。

男女共同参画基本法の理解を深めるために設定された「男女共同参画週間」（6月23日から6月29日まで）の期間中をはじめとして、多くの市民の皆さまに見ていただけるよう、市内各所で開催しました。



旭川市中央図書館

CoCoDe



旭川市民文化会館

期間	場所	テーマ
6月1日～6月30日	旭川市総合庁舎 1階	男女共同参画について (男女共同参画週間)
7月3日	協働事業イベント内 (市民活動交流センターCoCoDe)	男女共同参画について
10月13日～10月27日	旭川市市民活動交流センター CoCoDe	SDGs × ジェンダー平等について
11月20日	イオン旭川西店 1階	児童虐待防止 オレンジリボン運動
12月7日～12月28日	旭川市中央図書館	アンコンシャス・バイアスについて
2月5日～2月6日	旭川市民文化会館 (まなびピア)	男女共同参画について

「旭川市男女共同参画推進団体」に登録しませんか？

募集中

男女共同参画社会の実現に資する活動をしている団体で本市に届出をいただいた団体を「旭川市男女共同参画推進団体」として登録しています。

登録いただいた団体には、男女共同参画推進の活動の支援として、政策調整課分室「ハーモニー」及びハーモニー内に設置している印刷機の無料貸し出しを行っておりますので、是非御登録ください。



「あさひかわ男女共同参画シンボルマーク」

この社会をよりよく生活しやすいものにしていくためには、男女お互いが、対等な立場での協力が不可欠です。『ASAHIKAWA』の『WA（和）』を抽出し、笑顔の男女が手をつないで協力して社会に参画していくイメージを形にしました。『W』の下の『A』は、川の街・旭川にちなんで川の流れ（と川に架かる橋）で表現しています。

（※2022年4月から次のとおり組織変更し、移転しました）

（発行）旭川市総合政策部女性活躍担当

〒070-0031 旭川市1条通8丁目フィール旭川7階

電話：76-5520

E-mail：joseikatsuyaku@city.asahikawa.lg.jp

HP：https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/700/735/751/752/d056768.html